

目標達成計画

作成日：平成24年6月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	入所以前の馴染みの場所や、人との交流が途切れてしまっている方がおられる。	馴染みの場所や、人との関係継続の支援。	家族さんにも協力を求めながら、馴染みの場所、人との関係を継続できるように支援していく。 又、施設のある山田も馴染みの場所となるよう、地域交流の場にはできる限り参加させていただく。	12ヶ月
2	13 34 36	開所7年目を迎え、利用者の生活の質、職員の知識、技術の向上が必要。	マニュアルの見直しを行う。	各マニュアルを見直し、現状に沿ったマニュアルに作り直す。	12ヶ月
3	13 23 36 52	利用者の自立支援のために、生活の質の向上を目指す。 職員の知識、技術のレベルアップが必要。	自分たちが将来お世話になりたい施設を目指す。	利用者は人としての尊厳を有していることを深く認識し、ケアにかかわる知識、技術の専門性と理論性の維持、向上を図るため、研修、勉強会を実施する。	12ヶ月
4	35	火災時における、地域住民の方々との連携方法が確立できていないため、訓練が必要。	地域住民の方々、地域の消防団、消防署参加型の火災訓練を実施する。	運営推進会議にて防災訓練の必要性の説明と、参加協力をお願いし、5月13日(日)に地域住民、地域の消防団、消防署に参加してもらっての防災訓練を実施済み。	1ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。